

碓東小通信 培根



安中市立碓東小学校

令和4年7月11日

NO.11

文責：峰岸

「引き渡し訓練」ではお世話になりました

7月4日（月）の「引き渡し訓練」では、お忙しい中、学校まで子供たちを迎えに来ていただきまして本当にありがとうございました。子供たちは大きな地震が発生したという想定で、体育館に移動して待機をしていました。その後、引き渡し訓練となったわけですが、おかげさまで、予定通りの時間で、安全に子供たちをご家族の方に引き渡すことができました。

安中市では、「震度5弱」以上の大きな地震が起きたときには、子供たちを学校に待機させ、今回の訓練のようにご家族の方に迎えに来ていただいて、引き渡すことになっています。また、急な雷雨などの天候悪化の場合、近くで強盗事件が発生して犯人が逃走している場合、野生動物が出没した場合など、子供たちだけで下校させるのが危険だと思われるときに、学校メールでお迎えを依頼することがあるかもしれませんが、実際にそのようなことがなければいいのですが、子供たちの安全に関わることに對しては、しっかりと準備しておく必要があると考えます。



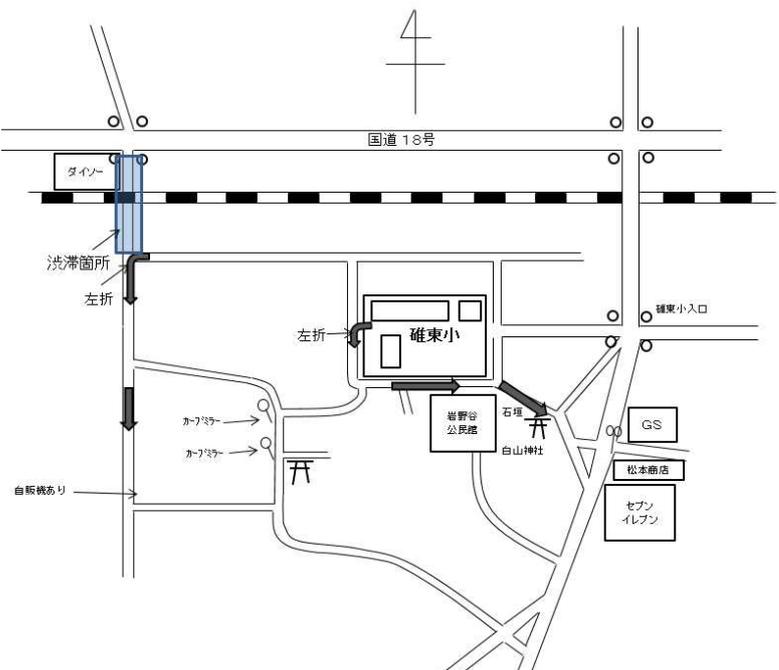
今回、数年ぶりの実施だったということもあり、様々な課題も見付け出せました。例えば次のような課題です。

① 体育館の玄関が狭いため、混雑が見られた。

⇒体育館玄関を入口と出口に分けておきましたが、体育館の玄関が狭く、そこで靴を履かなければいけなかったために、混雑が見られました。渡り廊下側の出入口を入口にし、玄関を出口にする。本当に緊急の場合は、下足のまま入ってもらう等の改善策が考えられると思います。

② 中宿東（ダイソーのところ）の信号までの道で渋滞が見られた。

⇒西門から出た後、碓東小入り口信号方面へ進まないことをお願いしてあったために、ダイソー方面への渋滞が見られたと考えられます。渋滞を回避するためには、右の地図にあるように、西門を出た後、左折して岩井方面に進む方法、しみずいちご園を左折して野殿方面に進む方法もあると思います。本校周辺道路は狭く、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

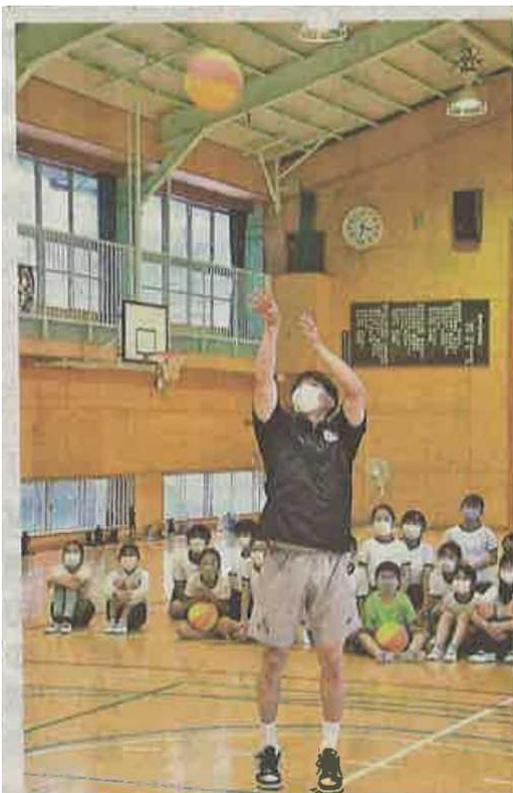


群馬クレインサンダース 菅原暉選手が来校しました

今年度、本校は「ぐんまの子どもの体力向上推進事業」の指定校となっています。その一環として、群馬クレインサンダースの菅原暉選手をお呼びし、講演会と実技指導を行っていただきました。コロナ禍でもあるため、残念ながら、今回は5・6年生のみの対象となりました。

菅原選手からは「夢」についてのお話を聞きました。小学校の時はいろいろなスポーツに挑戦したこと、勉強も一生懸命にやったことなど心に響くお話を聞くことができました。その後のバスケット教室では、簡単なゲームをする中で、“協力することの大切さ”を教えてくださいました。とてもかっこいい選手でしたが、ただ外見がかっこいいだけではなく、その生き方がかっこいいし、それが表情にも出ているという感想をもった子もいました。

短い時間でしたが、とても有意義な時間になりました。



時の話題
 ▽バスケットボール男子Bリーグ1部(B1)群馬クレインサンダースの菅原暉選手(24)によるバスケット教室が5日、安中碓東小(峰岸康明校長)で開かれた。5、6年生の児童計90人が夢を追い続けることの大切さとスポーツの楽しさを学んだ。

▽児童はグループに分かれ、ドリブルを取り入れたウォームアップメニューなどに挑戦。爽やかな汗をにじませながらチームワークの大切さを学んだ。6年生の天田結月さんは「みんなと協力できて楽しかった」と声を弾ませていた。

▽菅原選手は念願だったプロ選手になった後も日本代表への選出を目標に頑張っていることを説明。「皆さんも目の前の目標に一生懸命取り組んで、夢をかなえて」と児童に呼びかけた後、豪快なシュートを披露した。写真。(田島孝朗)